

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市大山街道ふるさと館	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 川崎市大山街道ふるさと館共同運営事業体 代表団体 公財)川崎市生涯学習財団 代表者 理事長 金井 則夫 住所 中原区今井南町514-1 構成団体 NPO法人教育活動総合サポートセンター	評価者	総務課長
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日	所管課	高津区役所総務課

2. 事業実績

利用実績	貸室利用者数34,671人、貸室利用件数2,097件、展示室利用者数6,649人
収支実績	収入総額25,757,886円(指定管理委託費23,007,000円、利用料金収入2,451,000円、雑収入299,886円) 支出総額23,751,524円(本部経費を除く)
サービス向上の取組み	・ホームページの情報公開や「ふるさと館だより」の発行などに継続して改善を行っており、市民に親しみやすく魅力的な館の運営・広報に対して、指定管理4年度目として安定した取り組みを行っている。 ・過去に小学生向けの事業の充実から親子連れの来館者増につなげた経験を活かし、中学生向けの新規事業に取り組み、さらに館の存在や魅力のアピールを図った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	施設の設置目的に沿った適切な運営を行っているか	5	4(0.8)	4
	事業成果の測定	事業実施による成果の測定が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 高津区民祭並びに大山街道フェスタで積極的な協力を行うなど、地域の文化活動に貢献していると認められる。また、中学生向けの新規事業への取り組みなど、過去に取り組んで効果を挙げた経験を活かしており、施設の活用促進に貢献している。他にも、事業面・管理面とも軽微な改善等を実施しており、総合評価として、施設の設置目的を尊重した取り組みを行っている認められる。					
管理業務の実施状況	維持管理等	施設利用の提供に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	適正な料金徴収を行い、遺漏のない金銭管理を行っているか	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報公開を適切に行っているか	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	適切に職員を配置し、円滑なローテーションを行っているか	5	3(0.6)	3
	人材育成	業務に関する研修を行い、職員の資質の向上に努めているか	5	3(0.6)	3
	危機管理等	通常の安全管理や、緊急時を想定した計画・訓練などを行うとともに利用者のニーズの把握につとめ適切な対応を行っているか	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 管理全般としては、事業計画に沿った適切な施設管理がなされている。 会議室、展示室ともに利用者の増加傾向が認められる。次項で評価する事業実施が大きな要因ではあるが、「ふるさと館だより」等における施設のPRや、実施した文化事業等を有機的に連携させた効果も認められるため、管理面における利用促進への努力としても評価できる。					
事業実施状況	施設を活用したサービスの提供	市民に親しまれるふれあいと学習の場を提供しているか。	10	4(0.8)	8
		地域団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか			
	施設の利用に関する業務	利用者の立場に立ったサービス提供を行い、利便性の向上に努めているか	15	3(0.6)	9
		充実した広報活動等により、施設の利用促進が図られているか			
	大山街道についての資料の展示等に関する業務	郷土の理解を促進する、魅力ある企画展を提供しているか	15	3(0.6)	9
常設展示について、魅力ある展示の工夫につとめているか					
事業の開催に関する業務	郷土理解の促進に寄与する文化事業や市民のニーズに即した文化事業を行っているか	5	4(0.8)	4	
(評価の理由) 小学生等のこどもを対象とした2事業を継続かつ年々深化させて取り組んでいること、また、企画展や文化事業を内容の連続性を引き続き意識して実施したことについては、郷土理解の推進につながることであり、評価できる。 常設展の観覧者数が年々増加していること等の実績が継続しており、取り組みが館の利用拡大を促進していることが認められる。 また、前年度刊行した冊子「訪ねて楽しい大山街道」についても、大山街道に市民が親しむためのツールとするのはもちろん、刊行イベントを開催する等、効果的にPRを行い、大山街道の理解促進に大きく活用したことを評価できる。					

収支状況	安定性	適切な収支計画に基づき、安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	市民サービスの向上に努めながら、効率的な予算執行が図られているか	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)	収入の範囲内で経費をまかなっており、適正な予算執行がなされている。			

4. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点: 100点満点。評価ランク: 5段階評価

A: 90点以上 B: 80点以上90点未満 C: 60点以上80点未満 D: 40点以上60点未満 E: 40点未満

A: 特に優れている B: 優れている C: 適正である D: 改善が必要である E: 問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

基本方針や運営方針に則り、継続して安定した管理運営を行った。

前年度と同様に、過去取り組んだ事業を発展させようという視点はもちろん、その経験を活かして新たな事業展開等、施設の発展に向けた視点を持って事業執行しているといえる。前年度同様に、工夫・努力を伴う取り組みが利用拡大につながっており、継続した取り組みがその流れとなっていると認められる。これらは、市民文化の向上や地域団体・文化団体との連携が基礎になっており、総合的な面で評価できるといえる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指定管理最終年度として、5年間の総括を意識すること。団体との連携等、展開できる可能性は多岐に渡るが、施設の規模を考慮すれば、施設並びに大山街道の置かれている状況をよく把握しつつ、得意分野を意識して事業展開を図ることが重要である。会議室等の運用に関しては、公平で平等な利用を確保しつつ、経済効果にも留意し、公共性と効率性をバランスよく追及し、サービス向上に取り組むこと。維持管理に関しては、一部設備の老朽化を念頭に、施設の快適利用や安全確保に留意すること。引き続き、地域団体・文化団体等との連携を行い、市民文化の向上並びに大山街道及び周辺地域の発展に向けた取り組みを行うこと。